

第 19 回 市町村研修担当者に聴く～大垣市～

令和3年4月1日号

研修センターでは、「市町村自らの手による自らの研修実施」という基本理念のもと、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行っていきたいと考えています。今回は大垣市役所にお伺いし実際の取り組みや研修業務に対する熱意をお聴きしました。

大垣市役所 人事課 堀田 翔 さん

Q1.研修センターへの受講者を募集する際、工夫している点について

大垣市では、研修センター主催研修は庁内のイントラネットに掲示し広く受講者を募ります。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響があり8月からの受講となりましたが、専門研修は24講座63名が受講しました。階層別研修については新規採用職員研修以外の3～5年目職員研修や課長補佐級職員などを役職別に受講させるようにしています。研修センターを活用する利点は役職別に求められる能力が学べるだけでなく、他自治体職員との交流が深められるのが有意義な点だと思います。



Q2.単独で行っている研修・取り組みや、広域で開催している研修について

新規採用職員研修・2年目職員研修・5年目職員研修の階層別研修を市独自で実施しています。市職員が講師となり業務の進め方・税や選挙の基礎知識、市の重点施策や財政状況などを学びます。主査昇格時には自治体経営・政策形成などをグループワーク中心で学ぶ研修を実施し、主幹昇格時には人事評価を学ぶ研修を実施しています。

また、全職員を対象に社会情勢や行政ニーズに対応する能力を養うための特別研修も実施しています。働き方改革研修や住民対応能力向上研修、女性活躍推進に関する研修を実施してきました。毎年継続する研修と、社会情勢を見ながら変更していく研修をバランスよく計画するようにしています。

令和2年度については新型コロナウイルスの影響もあり、職員の基礎となる階層別研修を重点的に行いました。今後も状況を見ながら臨機応変に対応していきたいと考えています。

Q3.人事交流など、他の機関への派遣について

自治大学校・国土交通大学校・市町村アカデミー・国際文化研究所などへ毎年派遣しており、国土交通省とは人事交流も行っています。また、来年度は民間企業へも派遣を予定しています。民間企業の優れた経営感覚を養うだけでなく、人脈づくりやそこで得た経験を市に還元できることを期待しています。

Q4.職員への自己啓発の支援について

自主的に学ぶ職員を支援するために①政策課題研究事業補助②資格取得補助③e-ラーニング等事業補助の3つの支援を行っています。

政策課題研究事業補助については、職員が行う自主的な調査研究活動について補助します。具体的には経営感覚を養うための大垣市版 SIM 作成グループや、SNS を活用した情報発信を行うグループに補助金交付を行いました。

資格取得補助については、一級建築士や建築基準適合判定資格者などの技術職員の業務において必要な資格等を補助しています。

e-ラーニング等事業補助については、パソコンスキルの向上や外国語講座の通信教育受講料などを補助します。現在の所属部署に関係するスキルに限定せず、大垣市役所職員として広く役立てられる内容であれば補助しています。実際に若手から主幹級の職員まで実績があります。

Q5.研修担当者として今後どのような研修を開催したいと考えていますか？

今後益々デジタル化社会が進展していくと思われます。職員が行政のデジタル化を進める上で有意義な研修を実施していきたいです。住民の利便性を向上させ、業務の効率化へ繋げられるよう職員には必要な知識を学んで欲しいと思っています。また、SDGsに関する研修も開催したいです。知識の習得や組織にとっての重要性を学べるようになると良いと思います。組織が取り組むことで経済価値・社会価値双方の創出となります。大垣市の施策や課題を SDGs への貢献にどう繋げるか、考えるきっかけになればと思います。

令和3年度も市の重点施策と照らし合わせながら研修を実施していく予定です。

Q6.研修担当者として心がけていることは？

人材育成や研修の効果はすぐに目に見えてくるものではありません。中長期的な視点を大切に、継続的に研修を行うようにしています。業務が多忙の中、せっかく研修を受けるなら有意義で積極的に受講できるよう工夫しています。講師との研修進行について打ち合わせを細かく行うことや、グループワークを多めにするように気を付けています。市独自のアンケートを取ることで、より良い研修となるよう受講する職員の声を大切にしています。新型コロナウイルスへの対策も行いながら、令和3年度は計画どおり研修が実施できるよう準備を進めています。

編集部より

年度末業務のお忙しい中、インタビューをお引き受けいただきありがとうございました。大垣市では、市の重点施策や社会情勢を鑑みながら計画的に人材育成に取り組んでおられる様子が伺えました。堀田さんご自身が長期的な視点で計画を進めておられる印象を持ちました。

来年度は研修センターでもオンライン研修を実施する予定です。今後も市での独自研修や自主学習への支援・研修センターへの派遣などバランス良く取り入れていただき人財育成の一助となれば幸いです。